大和ハウスリート投資法人

2019 年 8 月 30 日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区永田町二丁目 4 番 8 号
大和ハウスリート投資法人
代表者名　執行役員　川西次郎
（コード番号：8984）
資産運用会社名
大和ハウス・アセットマネジメント株式会社
代表者名　代表取締役社長　土田耕一
問合せ先　取締役財務企画部長　塚本晴人
TEL. 03-3595-1265

建築物省エネルギー性能表示制度（BELS）評価及び DBJ Green Building 認証の取得に関するお知らせ

大和ハウスリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本投資法人が保有する下記の物件について、建築物省エネルギー性能表示制度（Building-Housing Energy-efficiency Labelling System）（以下「BELS」といいます。）の評価及び DBJ Green Building 認証を本日付で取得しましたので、お知らせいたします。

記

1.　BELS の概要

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律（建築物省エネ法）において、不動産事業者等は建築物の省エネルギー性能を表示するよう努めることが求められています。BELS は、国土交通省が定めた評価基準に基づいて第三者機関が建築物の省エネルギー性能を評価する制度で、評価は 5 段階（★～★★★★★）で表示されます。

BELS の内容等については以下をご参照ください。

BELS に関するウェブサイト：https://www.hyoukakyoukai.or.jp/bels/bels.html

2.　BELS の評価ランク

物件名称	D プロジェクト野田	D プロジェクト久喜Ⅴ	D プロジェクト久喜Ⅱ
用途	物流施設	物流施設	物流施設
評価ランク			
物件写真			

物件名称	D プロジェクト川越Ⅲ	D プロジェクト上三川
用途	物流施設	物流施設
評価ランク	BELS この建物のエネルギー消費量15%削減 2019年8月30日交付 国土交通省告示に基づく第三者認証	BELS この建物のエネルギー消費量19%削減 2019年8月30日交付 国土交通省告示に基づく第三者認証
物件写真		

3.　DBJ Green Building 認証制度の概要

DBJ Green Building 認証とは、環境・社会への配慮がなされた不動産（Green Building）を支援するために、日本政策投資銀行（DBJ）が創設した認証制度で、対象物件の環境性能に加え、防災やコミュニティへの配慮等を含む様々なステークホルダーへの対応を含めた総合的な評価に基づき、社会・経済に求められる不動産を評価・認証するものです。

本認証制度の内容等については以下をご参照ください。

DBJ Green Building 認証に関するウェブサイト：http://igb.jp/

4.　DBJ Green Building 認証の評価ランク

物件名称	D プロジェクト野田	D プロジェクト仙台泉Ⅱ	D プロジェクト北八王子Ⅲ
用途	物流施設	物流施設	物流施設
評価ランク	DBJ Green Building 2019 優れた「環境・社会への配慮」がなされた建物	DBJ Green Building 2019 優れた「環境・社会への配慮」がなされた建物	DBJ Green Building 2019 優れた「環境・社会への配慮」がなされた建物
物件写真			

物件名称	D プロジェクト板橋新河岸
用途	物流施設
評価 ランク	DBJ Green Building 2019 優れた「環境・社会への配慮」 がなされた建物
物件写真	

5. DBJ Green Building 認証において評価を受けた点

D プロジェクト野田：
- 共用部の照明に人感センサーと LED を採用する他、事務所及び倉庫の照明の過半を LED 化する等、省エネを促進している点
- 給湯室やトイレに節水型水栓を採用し、節水型便器を設置する等、省資源に努めている点
- 倉庫部において十分な床荷重、天井高を確保する他、喫煙室と和室付の休憩室を設置する等、利用者の利便性と快適性に配慮している点

D プロジェクト仙台泉Ⅱ：
- 外壁にサンドイッチパネルを採用し、大半の照明器具を人感センサー付 LED 照明とする等、省エネを促進している点
- トイレに節水型水栓を採用し、節水型便器を設置する等、省資源に努めている点
- 倉庫部において十分な床荷重、天井高、庇の出幅を確保し、利用者の利便性に配慮している点

D プロジェクト北八王子Ⅲ：
- 専有部と共用部に LED 照明を採用し、共用部には更に人感センサーを設置する等、省エネを促進している点
- トイレの洗面台や給湯室に節水型水栓を採用するとともに、節水型便器を設置することで省資源に努めている点
- 十分な床荷重、天井高、ピロティの奥行きを確保し、喫煙室付の休憩室を設置する等、利用者の利便性と快適性に配慮している点

D プロジェクト板橋新河岸：
- 共用廊下やトイレへの LED 照明及び人感センサーの設置により、省エネに配慮している点
- 給湯室やトイレの洗面台に節水型水栓を採用するとともに、節水型便器を設置することで省資源に努めている点
- 従業員が利用可能な食堂が設置され、快適性への配慮がなされている点

6.　今後の取り組み

本投資法人は、環境・省エネルギーへの配慮及び地域社会への貢献等を中心としたサステナビリティに関する取り組みを今後も推進していきます。

以　上

＊ 本投資法人のホームページアドレス：https://www.daiwahouse-reit.co.jp/